

認定看護師
インタビューリレー
《第17回》手術室看護師として
できることを追い求め続けて―看護師を目指したきっかけ
は何ですか？

高校時代、将来の進路を漠然と考えていた時期に怪我をし、手術をすることになりました。入院中、担当看護師にはよく気にかけてもらい、術前の麻酔導入時には不安にならないよう声をかけてくれたり、様々なケアをしていただきました。進路相談にまでもものっていた、次第に私の看護師に対する憧れは強くなりました。私の手術経験から、将来は手術室看護師として働きたいと思うようになり、現在に至ります。

―手術室に配属後はいかが
でしたか？

手術室配属以降、経験を重ねたのちに手術看護認定看護師のを知り、受験しました。合格後の研修では、皆に追いつけるよう必死に勉強していたのを覚えています。その時に出会った仲間と、今も互いに情報交換や意見を交わせるのは本当に幸せな環境で、これからも大切にしたいネットワークです。

―忘れられないエピソードは？

息子が私の当時の勤務先で手術をすることになり、私も父親としてサポートできればと思い、その手術の外回り

を担当しました。無事に手術も終了し、麻酔から覚めた息子の隣には私しかいなかったのですが、第一声に母親を呼んだことは今でも忘れられません。この時、患者にとって一番信頼できる人は誰かを考えさせられましたね。笑

―若手看護師に向けてメッ
セージをお願いします。

近年、手術件数増加によって多忙となり、仕事のスピードを優先するがあまり、こなし業務になりがちな人もいるのではないかと思います。ほんの少しの時間で



後藤 悟史 氏

高砂市民病院
手術看護認定看護師
4期生

良いので、患者と向き合い、自分の看護はどうだったか、患者はどう述べていたかを振り返っていただければと思います。「看護師として大切にしている想い」や、「自らの看護観」を磨き、歩みたい道を見つけて進んでもらえればと思います。(聞き手: 谷、中西)

愛知医科大学病院ナースングフェスタ2019にて

お役立ちセミナーを開催

2019年12月7日、愛知医科大学病院ナースングフェスタ2019に参加し、お役立ちセミナーを開催しました。



「対応力強化! すぐに物が取り出せる5Sセミナー」では、保管ルールの紹介、災害時に備えた対応策を解説しました。参加者からは「医療現場での5S実践例を教えてください」と抱負を述べられました。

「後輩ができたあなたへ コーチング・コミュニケーション入門 ~信頼される先輩へスキルアップ~」では、若手リーダークラ



スを中心に解説し、ティーチングとの違いや傾聴スキルを紹介しました。参加者からは「後輩育成に必要なコミュニケーションを学ぶことができました。やる気を引き出せるような伝え方をしていきたいです」と抱負を述べられました。(谷)

全国の地区学会でアンケート 「手術安全チェックリスト」 について独自調査

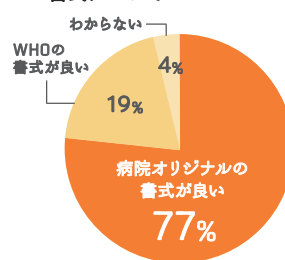
手術安全チェックリストとは、世界保健機関(WHO)により発行された「WHO 安全な手術のためのガイドライン 2009」に掲載されているチェックリストです。日本手術看護学会では、手術の安全な実施のため「WHO手術安全チェックリスト」の使用が有用と考え、推奨しています。

今回は2019年度 日本手術

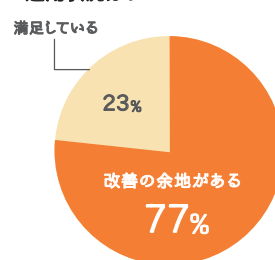
看護学会地区学会に会場された手術室看護師 約400名の方に回答をいただきました。

「手術安全チェックリストの書式」(Q1)について何うと、「病院オリジナルの書式が良い」が77%、「WHOの書式が良い」が19%、「わからない」が4%となり、WHOの書式を独自にアレンジして使用している施設が多いことがわかりました。推奨

Q1.「手術安全チェックリスト」の書式について



Q2. 貴院の「手術安全チェックリスト」の運用状況は?



されている通り、情報交換をしやすく工夫されている施設が多い傾向がありました。

「貴院の手術安全チェックリストの運用状況」(Q2)では、「改善の余地がある」が77%、「満足している」が23%と続き、導入しているものの運用状況に課題に感じている方が多い

ことがうかがえました。改善の余地があると回答された方からは「看護師、医師が協力できていない」、「運用を促進するような部署がない」などの意見があり、チーム一丸となつての取り組みが重要であることが見受けられました。(山口)

詳細は [WHO 安全な手術のためのガイドライン 2009](#)

検索

TOPIC

＼ 生誕200年! ＼

「ナイチンゲール」を知る

ナイチンゲールは1820年に生誕し、裕福な家庭に育ち、英才教育を受けた「お嬢様」でした。16歳の時、「貧しい人や病人を助けるのが自分の人生ではないか?」と神のお告げを聞き、看護師を志すきっかけとなりました。当時、上流社会の女性は結婚して家庭に入ることが一般的だったため、看護師になることを家族から猛反対されますが、それを押し切り自分の道を進みます。

彼女の名を有名にしたのがクリミア戦争での活躍です。負傷した兵を助けるために行った改革として①院内の衛生改革、②昼夜問わずの患者とのコミュニケーション、③栄養ある院内食等が挙げられ、近代看護の礎を築きました。献身的な看護と衛生管理によって負傷兵を快方に導き、「クリミアの天使」と呼ばれるようになりました。これが現代の「白衣の天使」のルーツになっています。

世界では生誕200年を記念に様々なイベントが開催され、日本では「Nursing Now:看護の力で未来を創る」が5月に東京で開催されます。これを機会にナイチンゲールの看護観に触れてみるのはいかがでしょうか。(中西)

CARE & CURE

徳島大学大学院と共同研究

病院・施設における 排せつ支援に関する アドバイジングの 有用性を検証



2019年8月に実施された「第3回徳島県地域包括ケアシステム学会」にて、優秀演題賞を受賞しました。

当社ライフケア事業では、紙おむつを中心に、介護用品と選び方・使い方の情報を、病院・施設の皆様へお届けしております。

排せつ支援では、おむつや尿取りパッドなどの排せつ支援用具と、それらを扱う方々の知識や技術の双方が必要とされています。より後者を高めることで業務の効率化を図ることが可能との仮説から、アドバイジングの有用性を図るべく、徳島大学大学院を中心とした産学民連携での共同研究を行いました。

当社リフレサポーターの アドバイジングの有用性

- ・紙おむつからの漏れの回数が減少
- ・交換回数の減少
- ・排せつ支援の効率化による他業務の充実
- ・スタッフへの排せつ支援への興味・関心を高める

実際の現場スタッフのお声

紙おむつの話をすることが増え、排せつ支援への意識が高くなった

漏れが減り、夜間の交換回数が以前の4回から2回まで減少した

拘縮の方への装着方法を教わり、衣類までの漏れがなくなった

同じメーカーの用具を使うことで、共通情報として排せつ委員からアドバイジングができるようになった

株式会社リブドゥコーポレーションは、医療と介護に携わる皆様のために、排せつケアに役立つ情報やスキルを発信して参ります。(嶺川)